



『越知のたから』



越知小学校 令和年6月18日 NO.11

人権授業・講演会・学級懇談会への参加、ありがとうございました。

安心な学級・学校にするために、人権学習は大切な学習です。各学年の発達段階に応じて、それぞれの学年で、「人権を大切にすることはどういうことなのか」具体的に考えました。

子どもたちの日常を見ると、「うざい」「きもい」「ばか」など相手を傷つける言葉が聞こえることがあります。そのような気持ちになったのはどうしてなのか、正しい言葉で思いを伝えられると、人を傷つけることなく自分の思いも伝わるのに、それが難しいのです。とは言え、人を傷つけてよい理由にはならないので、正しく思いを伝えるという練習も必要です。私たち、大人は「そんな言葉は使わない」と伝えるのと同時に「そんな言葉を使わなくてもすむように」伝え方を教えることもしなくてはなりません。学校でも家庭でも、人も自分も傷つけないための教育を共にしていきたいですね。どうぞよろしくお願いいたします。

講演会の会場の暑さ対策は今後考えていきたいと思います。

全員に5つの誓い
ステッカーを
いただきました。

命の授業

講師：腰塚勇人先生

★誰かのドリー夢メーカーに★



ドリー夢メーカーのてき!!
ドリー夢キラー
命・こころ・からだ
をきずつける人

まずは、
私たち大人が
ドリー夢メーカーに
なりたいですね。



きっとできるよ! 応援してるよ!
あなたなら大丈夫!
ドリー夢メーカーの言葉を使おう!

★「Oリング」「腕相撲」の実験★

マイナスな言葉がけをされると力がでなかったのに、
子どもたちの「先生、がんばれ～」という
ドリー夢な応援で
力がみなぎった先生でした。
言葉って不思議な力を持っていますね。

せんせいを応援してほしい
おとなを応援してほしい
命のちからを応援してほしい
みんなのちからには
ドリー夢メーカーが
たくさんいます!



感想より(抜粋) 言葉の大切さを再確認しました。子どもを信じて命が元気になる言葉をかけてあげたいと思います。